

第58期 報告書

2018年3月1日～2019年2月28日



グループ紹介



八ヶ岳連峰経営について

お客様との距離を短く保ちながら、スピーディな経営判断を実現するため、アークスグループは富士山のように高くそびえる大きな一つの企業体ではなく、八ヶ岳連峰のように同じような高さの山々が連なる企業連合を目指しています。



グループ理念

アークスグループは、地域のライフラインとして
価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献します。

グループ理念は、アークスグループがどのような領域で、どのような使命を持ち、目標を果たすのかを明確にしたもので、私たちが活動するうえでの考え方の基本となるものです。

グループ運営方針

- ① お客様第一主義の徹底
- ② 「八ヶ岳連峰経営」による運営
- ③ 健全な経営と着実な成長
- ④ ロープライス、ローコストの追求
- ⑤ 情報の公開とコンプライアンス

ご挨拶

私たちアークスグループは、2002年11月より「八ヶ岳連峰経営」のもと、北海道および東北地方のグループ各社と共に、地域に密着したスーパーマーケットを中心とした流通グループとして、着実に成長を続けてまいりました。

2018年12月、地域の食品流通インフラを確保して、その食文化・食生活を守っていくことを最大の使命と考える株式会社バローホールディングス、株式会社リテールパートナーズとともに、資本業務提携により「新日本スーパーマーケット同盟」を結び、地域を代表する流通小売業の結集軸となり、これからの業界をリードし、再構築することを表明いたしました。

これからも、「アークスグループは、地域のライフラインとして価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献します。」というグループ理念のもと、新たな業界標準のプラットフォームたりうる新システムの本格稼働及びグループシナジーのさらなる追求を通じて、地域のライフラインとしてのつとめをはたしてまいります。

株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

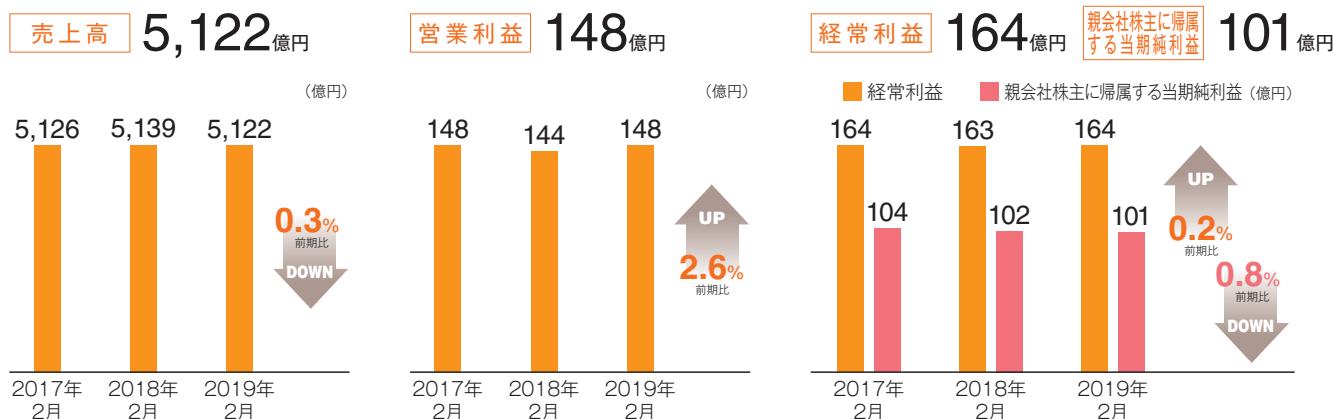


代表取締役会長
三浦 紘一



代表取締役社長
横山 清

業績推移





代表取締役社長
横山 清

Try, One Trillion! 地方同盟の資源叡智を結集し デジタル革命をこえ人心時代を築く 平成31年元旦 社長 横山 清

Q.1 今年の年頭所感には、どのような思いを込めたのでしょうか。

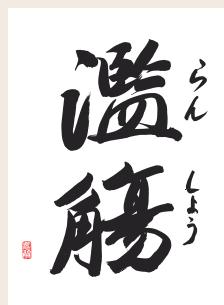
A.1 売上高1兆円を目指し、社内外の力を結集しつつ、デジタル革命を越えて人と人の心を大切にしていきたいと思います。

企業の成長の壁といわれる「1・3・5の壁」から言うと、売上高5,000億円の壁を破ることが出来たので、次の「1」である1兆円を目指そうと「Try, One Trillion!」をスローガンとして進んでいきます。大手企業が進めている地域シェア拡大政策により競争が激化する中、地方の小売業界は、全国的な規模拡大による経営の効率化や収益力の強化を図る目的でお互いに協力することが必要であり、志を同じくする仲間と広く手を携えてまいります。店舗型の小売業が生き残るために、デジタル革命を乗り越え、リアルとデジタルを融合させた仕組みを構築して、お客様のご要望・お買い物をする楽しさや喜びに今まで以上に応えてまいります。

Q.2 今年は新元号となりますが、どのような1年になると考えますか。

A.2 あらゆる事象が画期的に変革するスタートの年、瀬鯨(らんしょう)の年になると考えます。

今年は平成が終わり令和の時代の始まりであるとともに、あらゆる事象が画期的に変革するスタートの年、瀬鯨と考えます。瀬鯨とは、大河も水源を遡れば、鯨(さかづき)を濫(うか)べる程度の小さな流れであるということから転じて、物事の始まりを表す言葉です。国内外の経済変動など不安定要素はありますが、アークスグループは新システムの稼働や「新日本スーパーマーケット同盟」を通じて、グループの経営資源を最大限に発揮して、瀬鯨から大河を目指す新たな1年にしていきたいと思います。



次期見通し	売上高	5,200 億円	1.5% UP ↑	経常利益	164 億円	0.03% UP ↑
	営業利益	148 億円	0.1% UP ↑	親会社株主に帰属する当期純利益	100 億円	1.7% DOWN ↓

「新日本スーパーマーケット同盟」締結!!

2018年12月、東海・北陸地方を中心に展開する株式会社バローホールディングス、中国・九州地方を中心に展開する株式会社リテールパートナーズ、そして北海道・東北地域にて展開する当社アークスグループの3社間において、戦略的な資本業務提携契約をいたし、「新日本スーパーマーケット同盟」を結成、提携推進委員会を発足して活動を開始いたしました。3社が提携、それぞれの経営資源や経営ノウハウを有効活用し、地域における独立系企業との連合形成等の施策を相互に支援することを通じて、各々がより高いレベルのチェーンストア経営へと発展を遂げることで、お客様の一層のご期待にお応えしていくことが可能となりました。

今後も、この同盟を通じて、地域のお客様の豊かな暮らしに貢献してまいります。



記者会見

「北海道胆振東部地震」において地域のライフラインのつとめをはたしてまいりました!!



地震発生時に制作したものの今後の安心と備忘のために



震災当日外売りの様子

2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震においては、未曾有の北海道全域停電の中、従業員一丸・グループ一丸となって、震災当日よりほぼ全店で営業をおこない、生鮮食品を除く飲料品や生活必需品などの販売を通じて、地域のライフラインとしてのつとめをはたしてまいりました。今後もより一層、地域のライフラインとしてのつとめをはたしてまいります。

がんばる北海道

「今後も新規出店・改装により、更に地域へ密着したサービスを提供します!!」

アークスグループは、積極的な新規出店・店舗改装を通じて、更に地域に密着したサービスを提供いたします。(株)ラルズは、「スーパーアークス新琴似店」新規オープン、(株)ユニバースは「ユニバース矢巾店」新規オープン、グループ各社においても移転新築オープンや改装を実施するなど、お客様のニーズに応え、お買い物を楽しんでいただけるお店づくりをすすめてまいります。



ユニバース矢巾店



スーパーアークス新琴似店

Group

アークスグループは、様々なコンセプトの店舗を展開し、地域の皆様のお役に立ち

株式会社ラルズ



ラルズマート



スーパーアークス



ビッグハウス

株式会社エルディ



カインズホーム

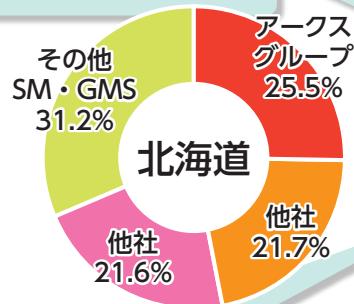
株式会社東光ストア



東光ストア



ディナーベル



株式会社道南ラルズ



ラルズマート



スーパーアークス



ビッグハウス

株式会社ベルジョイス



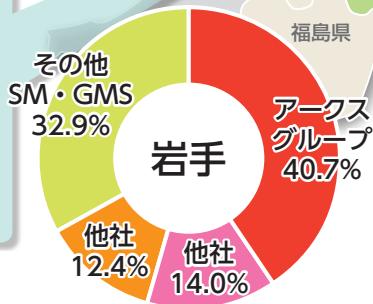
ジョイス



ベルプラス



ビッグハウス



青森県

秋田県

岩手県

山形県

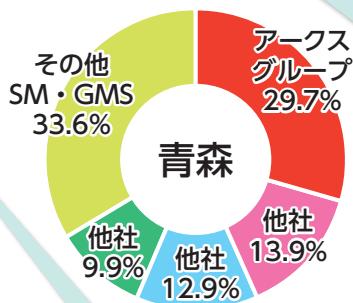
宮城県

福島県

たいと考え、日々、努力を積み重ねております。お近くへお越しの際は、是非お立ち寄りください。



北海道



株式会社道北アークス



ふじ



ベストプライス



ウェスタン

株式会社道東アークス



ラルズマート



スーパーアークス



ビッグハウス

株式会社福原



フクハラ



びあざフクハラ



ベーシック

株式会社ユニバース



ユニバース



ビッグハウス



パワーズU

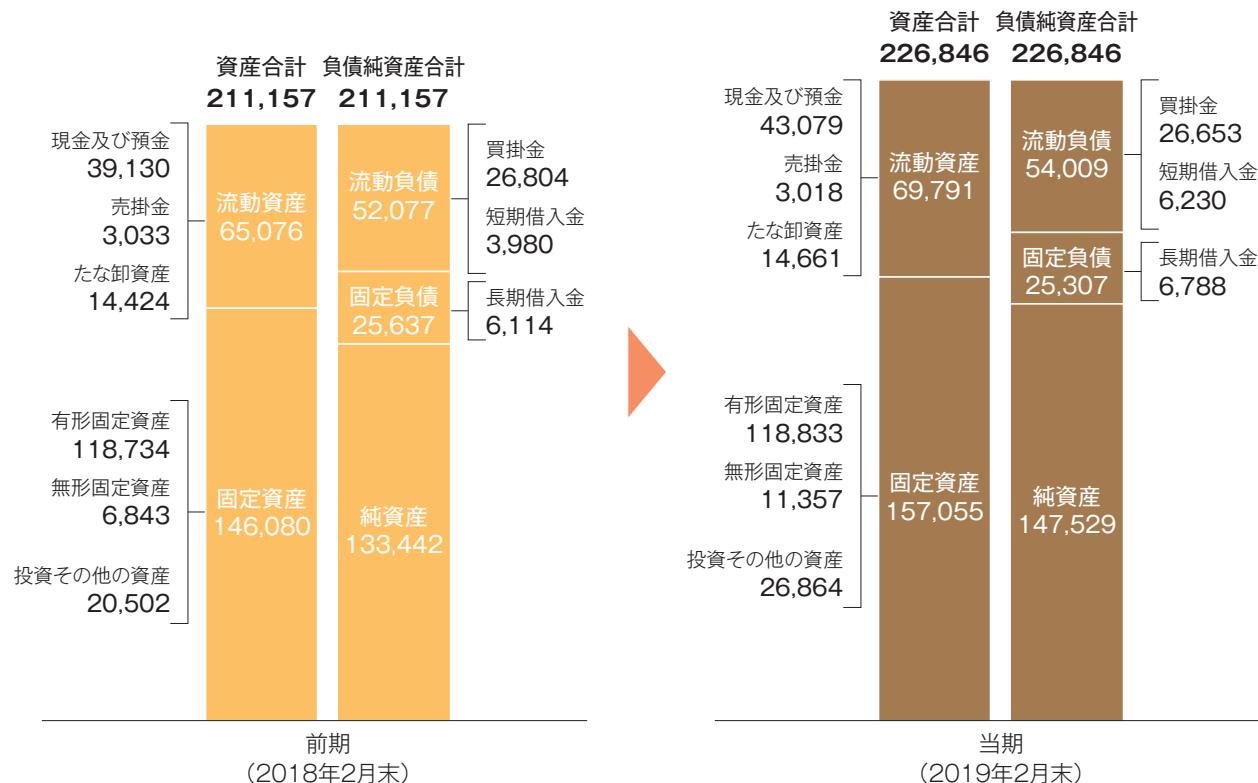


Uマート

※市場シェア:食品売上高のシェア。[2018食品スーパーマーケット年鑑]を元に
当社推計食品売上高は2017年度

連結財務諸表概要

連結貸借対照表の概要 (百万円)



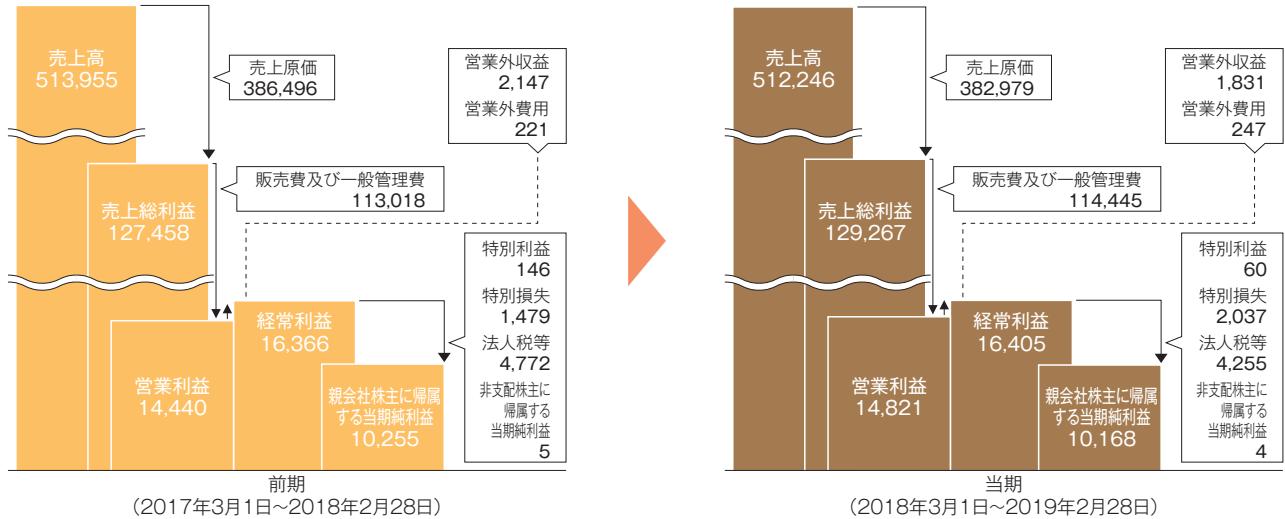
連結貸借対照表のポイント

総資産2,268億46百万円(対前期比7.4%、156億89百万円増)
負債793億16百万円(対前期比2.1%、16億2百万円増)
純資産1,475億29百万円(対前期比10.6%、140億87百万円増)
→自己資本比率65.0%(対前期比1.8ポイント上昇)

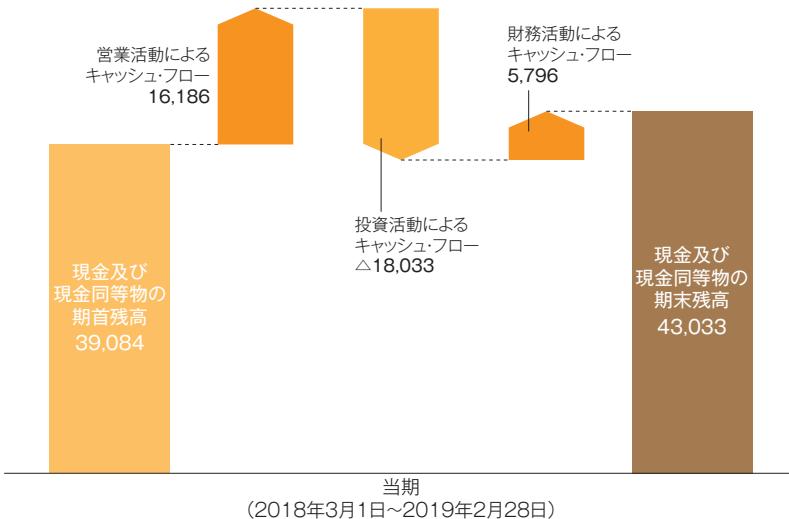
<主な要因>

- 現金及び預金39億48百万円増、無形固定資産45億13百万円増、投資有価証券66億99百万円増
- 短期借入金22億50百万円増、長期借入金6億73百万円増
- 利益剰余金74億74百万円増

連結損益計算書の概要 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



連結損益計算書のポイント

- 売上高5,122億46百万円
 (△0.3%、17億9百万円減)
 営業利益148億21百万円
 (2.6%、3億81百万円増)
 経常利益164億5百万円
 (0.2%、39百万円増)
 親会社株主に帰属する当期純利益
 101億68百万円
 (△0.8%、86百万円減)
- <主な要因>
- 売上高は、年度前半の天候不順や、9月の北海道胆振東部地震発生以降の消費者心理の落ち込みもあり、わずかに減収。
 - 営業利益、経常利益は人件費や新システム導入に伴う経費が増加したものの、震災後のチラシ特売中止により売上総利益率が上昇したことや、宣伝装飾費が削減されたこと等により増益。
 - 親会社株主に帰属する当期純利益は、震災を起因とした特別損失(商品廃棄損や店舗設備修繕等)の計上があったものの、減損損失や法人税等負担が減少したこともあり、わずかに減益。

株主優待

日頃よりご支援いただいております株主の皆様へ、感謝の気持ちを込めて「株主優待制度」を実施しております。毎年2月末現在の株主様に対し、ご所有株式数に応じて当社グループ商品券、全国共通商品券VJAギフトカード、アップルジュース、青森県産りんごの4種類から一点とカタログギフトを贈呈しています。※送付時期は、りんごのみ12月上旬、その他は7月中旬の予定です。

	ご優待1 アークスグループ 商品券	ご優待2 VJAギフトカード	ご優待3 アップルジュース	ご優待4 青森県産りんご	ご優待5 カタログギフト
					3,000円相当 または 3,500円相当の カタログギフト
所有株式数	アークスグループ商品券 または VJAギフトカード		アップルジュース (250g×30本)	青森県産りんご	カタログギフト
100~499株	いずれかひとつお選びいただけます。				
	 2,000円分	or	 1箱	or	 約3kg
500~999株	いずれかひとつお選びいただけます。				
	 3,000円分	or	 2箱	or	 約5kg
1,000~ 4,999株	いずれかひとつお選びいただけます。				
	 4,000円分	or	 2箱	or	 約5kg
5,000株以上	いずれかひとつお選びいただけます。				
	 5,000円分	or	 2箱	or	 約10kg
					 3,000円相当
					 3,500円相当

※写真はイメージです。実際の優待品は写真と異なる場合がございます。

株式の状況

(2019年2月28日現在)

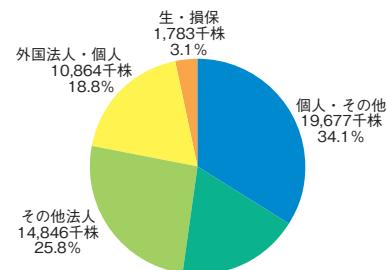
- 発行可能株式総数 200,000,000株
- 発行済株式の総数 57,649,868株
- 株主数 25,687名(前期比1,116名増)

大株主(上位10名)

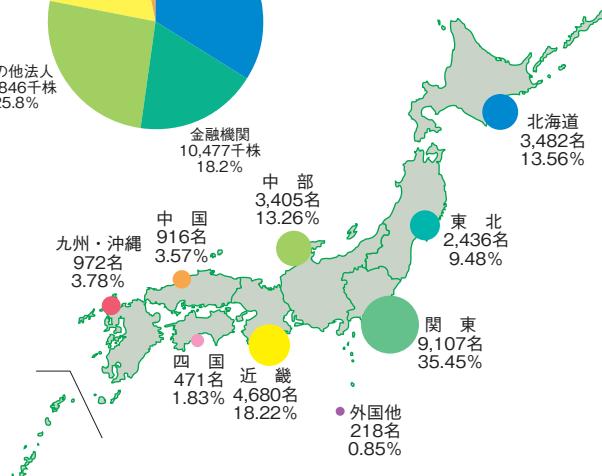
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
横山清	3,030,454	5.25
株式会社北海道銀行	2,527,072	4.38
有限会社丸治	1,437,131	2.49
株式会社北洋銀行	1,415,844	2.45
株式会社謙徳	1,377,619	2.38
株式会社パローホールディングス	1,335,000	2.31
株式会社リテールパートナーズ	1,335,000	2.31
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,217,519	2.11
三浦紘一	1,031,145	1.78
アークグループ社員持株会	1,015,898	1.76

(注) 持株比率は自己株式(475株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況(株式数)



地域別分布状況(株主数)



会社概要

- 商号 株式会社アークス
- 設立 1961年10月28日
- 資本金 212億5百万円
- 証券コード 9948
- 店舗数 334店舗(グループ全体、2019年2月28日現在)
- 従業員数 147名(グループ全体19,172名、2019年2月28日現在)
- 本社 〒064-8610 札幌市中央区南13条西11丁目2番32号
- 事業内容 純粋持株会社
(国内外の会社の株式または持分を取得、所有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理する)

役員(2019年5月23日現在)

代表取締役会長	三浦 紘一
代表取締役社長	横山 清一
取締役専務執行役員	古川 公一
取締役執行役員	六車 亮樹
取締役執行役員	小薙米 秀樹
取締役執行役員	福原 郁治
取締役執行役員	井上 浩一
取締役執行役員	澤田 司久
取締役執行役員	猫宮 一久
取締役	佐伯 浩子
取締役	佐々木 亮子
常勤監査役	佐川 広幸
監査役	田守 隆行
監査役	高嶋 和智
監査役	伊東 和範
執行役員	増山 謙一
執行役員	阿部 修

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
基準日	毎年2月末日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領 株主確定日	毎年2月末日
剰余金の配当	毎年2月末日
中間配当	毎年8月31日
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載アドレス http://www.arcs-g.co.jp/ ただし、電子公告をおこなうことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

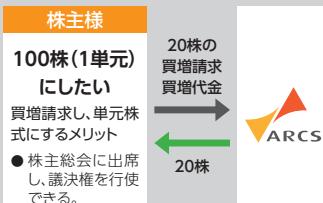
	証券会社等に 口座をお持ち の場合	証券会社等に 口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問い合わせ先	お取引の 証券会社等 になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取り方法の 変更等)	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
未払配当金の お支払	上記お取扱店に加え、 みずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	配当金の支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買増・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続をおこなっていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

単元未満株式の買増・買取制度について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1～99株)については市場で売買はできませんが、当社に対して100株(1単元)となるよう買増請求(購入)することができます。または単元未満株式を当社に対して買取請求(売却)することができます。

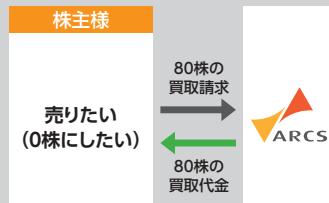
1.買増請求(購入)の場合

例:株主様が80株を所有している場合



2.買取請求(売却)の場合

例:株主様が80株を所有している場合



- 証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引証券会社等にご連絡ください。
- それ以外の株主様は、下記のみずほ信託銀行株式会社証券代行部にご連絡ください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-288-324 (平日9:00～17:00)

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9948



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

※アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-6779-9487(平日10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



本社 〒064-8610 札幌市中央区南13条西11丁目2番32号
TEL 011-530-1000 FAX 011-530-1010
<http://www.arcs-g.co.jp/>

